

取り付け可能な車の条件

●「適応車種一覧表・EGSシリーズ」に記載されている車種であること。

他のエンジンスターター、もしくはターボタイマー用ハーネスを流用・加工しての取り付けは絶対にしないで下さい。「適応車種一覧表・EGSシリーズ」をよくご確認の上、車に適合した当社製専用ハーネスをご使用下さい。

●スターター作動時間が3秒以内でエンジンが始動出来る車であること。

適応車種は、以下の条件を考慮して選定しております。

- オートマチック車であること。(マニュアルトランスミッション車には取り付け出来ません。)
- 国産車であること。
- 12V車であること。
- 電子燃料噴射装置搭載車であること。

安全に使用するための注意

使用上の注意

●シフトレバーは必ずPレンジに入れて使用して下さい。

Nレンジでは使用しないで下さい。パーキングブレーキは、必ずかけて下さい。一部の車種では、リモコンでエンジン始動後そのまま走行し、その後キーでエンジンを停止するとPポジション以外でもキーが抜ける場合がありますのでご注意下さい。なお、このような車種では、ドアスイッチ配線を行い乗車前に一旦エンジンを停止させ、キーで再始動すればPポジション以外でキーが抜けることはありません。

●オートライト装着車に取り付けの場合、オート状態のまま夜間にリモコンにてエンジンを始動すると、車のライトが点灯してしまい、リモコン停止や自動停止後に消灯しません。そのためバッテリー上がりの原因となりますので、ライトスイッチはOFFの状態でご使用下さい。一部の車種では「オートライトアダプター」(別売)を取り付け頂くことで、オート状態でも使用出来るようになります。

●リモコンドアロックあるいは、キーレスエントリー装着車では、エンジン駆動中(本機リモコンでのエンジン駆動中も含む)リモコンによるドアのLOCK/UNLOCK操作が出来なくなる車種があります。一度エンジンを止めるか、キーでドアを開けて下さい。「キーレスアダプター」(別売)を取り付け頂くことで、本機リモコンのスイッチ操作でドアのLOCK/UNLOCKが出来るようになります。(但し、一部の車種を除きます。必ず「適応車種一覧表・EGSシリーズ」でご確認下さい。)

●キーでエンジンを始動した後に、充電警告灯が消えない車は、エンジンスターターを使用せずに車の点検整備をして下さい。

●オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車に取り付けた場合、リモコンでのアイドリング中に、車のキーを差し込んでもステアリング機能は働きません。エンジンを止めて、再度キーを使ってエンジン始動を行って下さい。ドアスイッチ配線を行うことで、ドアを開けると同時にエンジンを停止させることも出来ます。詳しくは25～26ページを参照して下さい。

●リモコンを操作するときはアンテナを十分に伸ばして下さい。電波到達距離は、周囲の環境、アンテナユニットの設置状態、リモコンの扱い方等によって変化します。一般的に建物内や周囲に鉄筋コンクリートの建築物があったり、高圧送電線や大出力の無線等のノイズ発生源があったりすると到達距離は短くなります。また、送信時にアンテナを収納したりリモコンを手等で覆うと短くなりますので、ご注意下さい。

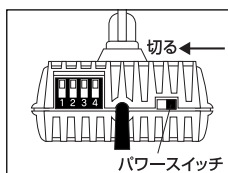
●寒冷地では、エンジンがかかりにくいことがあります。キー操作のみで3秒以内にエンジンが始動するように車を整備して下さい。

●バッテリーの弱っている車や改造車では、正常にエンジン始動出来ない場合があります。

●環境保護のため必要以上のアイドリングは行わないで下さい。

安全上の注意

⚠ 危険



下記の場合には、アンテナユニットのパワースイッチを切って下さい。事故の恐れがあります。

- 車検・整備等で車を預ける場合。
- 車検・整備等を行う場合。
- この商品の取り扱い方を知らない方が運転する場合。

●車にボディーカバー等を掛けたまま使用しないで下さい。火災の恐れがあります。

●リモコンでエンジンを始動するときは、車の近くに燃えやすい物がないことを確認して下さい。火災の恐れがあります。

●密閉されたガレージ内では使用しないで下さい。排気ガスが充満して危険です。

●人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないで下さい。お子様による車の操作やペットの思わぬ動きが重大事故につながる恐れがあります。

●リモコンは、お子様の手の届く所には、置かないで下さい。事故の恐れがあります。

●ボンネットを開けるときはパワースイッチを切って下さい。事故の恐れがあります。

安全のため「ボンネットスイッチ」(別売)の取り付けをお勧めします。